



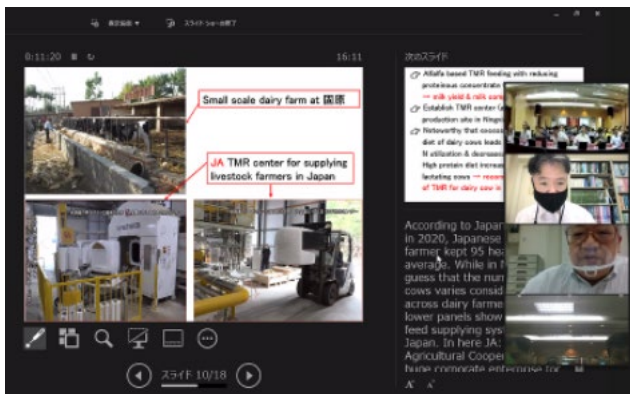
持続可能な開発目標に関する両国の課題解決に関する学際的研究 (環境対策・畜産農業・農村社会・環境教育・コミュニケーション研究)

島根大学・寧夏大学国際共同研究所

本研究所は、SDGsに関する課題解決を第一項に掲げる国際共同研究所第4次基本合意書（2019年3月締結）に基づいて、中国の関連大学と学際的研究を推進しています。

2021年度は、SDGs17に対応して「SDGs実現のための農学研究 -今後の日中国際共同研究にむけて-」を主題とした「第18回日中国際学術セミナー」をオンラインで実施した他、交流範囲の拡張を目指し「東アジアの農山村における人口減少と地域の持続性」を主題とする「日中韓オンライン学術セミナー」を開催しました。

また、共同研究以外の活動として、学生間の異文化交流促進を目的とする「中国サロン」を計5回開催し、延べ71名の教職員・学生が参加しました。



■現在実施中の共同研究課題

寧夏大学（寧夏回族自治区銀川市）

「耕畜連携」の日中比較と学際研究 —窒素フローからみた地域の持続可能性アセスメント—

概要：日本の中山間地域と中国・西北部が抱える地域環境および生態系の保全・修復と畜産経営の安定の両立という共通の課題を解決するため、社会/経済学・動物栄養/畜産学・生態環境/土壌学からの学際的アプローチと国際共同研究により、日中双方のフィールドにおける地域環境・地域社会・地域経済の持続可能性を実現するための「耕畜連携」モデルを提示する。



蘭州大学（甘肅省蘭州市）

メタン放散低減を目指した 寧夏自治区における新形質枸杞茎葉部の飼料化

概要：家畜生産成績の向上と環境への配慮を両立した大規模家畜飼養モデルの確立に寄与するため、近年寧夏で発見された新形質枸杞を供試し、茎葉部の飼料価値査定と、肉用牛・在来羊への給与試験によるエネルギー利用率・窒素蓄積成績・メタン産生量に関する調査を実施し、新規粗飼料源としての飼料価値を明らかにする。

